

JR東日本、4万人規模の勤務システム基盤に「Cosminexus」を採用

東日本旅客鉄道株式会社 ▶ <http://www.jreast.co.jp/>

株式会社ジェイアール東日本情報システム ▶ <http://www.jeis.co.jp/>

株式会社日立システムアンドサービス ▶ <http://www.hitachi-system.co.jp/>

安全の確保が最優先される鉄道事業では、サービスを担う社員の労働時間の適正な把握が重要な課題の1つです。

そこで東日本旅客鉄道株式会社(以下、JR東日本)と、同社のシステム開発を行う

株式会社ジェイアール東日本情報システム(以下、JEIS)は2008年4月、本社・支社の企画部門、

駅係員、車両・設備メンテナンス業務従事者などを対象とした4万人規模の勤務システムを、

株式会社日立システムアンドサービス(以下、日立システム)が開発・提供する就業管理パッケージ「リシテア」によって刷新。

大規模なミッションクリティカルなシステムを支えるJ2EE基盤には、

株式会社日立製作所(以下、日立)のSOAプラットフォーム「^{コズミネクス}Cosminexus」が選ばれました。

Open middleware case study



東日本旅客鉄道株式会社
人事部
新社員システムプロジェクト
石川 司氏



株式会社ジェイアール
東日本情報システム
システム開発本部
生活サービスソリューション部
経費把握勤務管理プロジェクト
リーダー
日比 誉氏



株式会社ジェイアール
東日本情報システム
システム開発本部
生活サービスソリューション部
経費把握共通プロジェクト
リーダー
伴 佳明氏



株式会社日立システムアンドサービス
アプリケーションシステム本部
リシテアソリューション部
技師
佐藤 圭氏



株式会社日立システムアンドサービス
社会システム本部
交通第2システム部
技師
杉本 毅氏

製品とSE力、双方の信頼性で選ばれた「リシテア」

1987年の民営化以来、安全・良質なサービスを提供しているJR東日本。現在は鉄道事業、生活サービス事業、Suica事業といった幅広いフィールドで、日々付加価値の高いビジネスを展開しています。

同社のシステム開発・運用を一手に担うJEISは2007年、JR東日本社員の人事・給与・福利厚生にかかわるシステムが老朽化したことを受け、新社員システム「JINJRE」の構築に着手。人事給与システムと勤務システムをオープン基盤上で構築し、2つのシステムを密接に連携することで、人事担当者や各職場の勤務担当者の負荷軽減を図ろうと考えました。そして勤務システムの選定にあたり、複数ベンダーの勤務管理パッケージを検討した結果、日立システムの「リシテア」が選ばれました。

「選定の際、最も重視したのは信頼性でした。鉄道会社特有の複雑な勤務体系への対応だけでなく、他のシステムと

の連携や、構築環境なども考慮しました。具体的には、1社単体で4万人強が利用した場合にも一定のレスポンスが出ること。さらに人が使うものなので、どうしてもイレギュラーな入力が起こる。そうした際にも確実に対応してもらえるSEの業務知識、企業としての信頼性が重要なポイントになりました」と語るのは、JEIS システム開発本部 生活サービスソリューション部 経費把握勤務管理プロジェクトリーダーの日比 誉氏。

JINJi system for "Reinforce" & "Empower": 「経営の足元を固め(Reinforce)、発展の力を与える(Empower)人事システム」の頭文字

ミッションクリティカルなJ2EE基盤を支える「Cosminexus」

Webアプリケーションとしての使いやすさと信頼性で、大企業から中堅企業まで幅広い導入実績を誇っているリシテア。JEISとの共同開発をスタートさせた日立システムは、鉄道会社特有の複雑な出退勤時間や休日を反映した勤務体系に合わせたカスタマイズを実施するとともに、基盤となるアプリケー

東日本旅客鉄道株式会社

本 社 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
社 員 数 61,900名(2008年4月1日現在)
事業内容 鉄道事業、生活サービス事業、Suica事業

株式会社ジェイアール東日本情報システム

本 社 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号
社 員 数 1,412名(2008年4月1日現在)
事業内容 システム開発・運営・管理、情報処理、コンサルティングなど

PARTNER PROFILE

株式会社日立システムアンドサービス

本 社 東京都港区港南2-18-1
社 員 数 4,976名(2008年3月31日現在、連結)
事業内容 SI事業、ソフトウェアパッケージ事業、
情報処理機器販売事業

Open middleware case study

ションサーバに日立のCosminexusを選定しました。

「リシテアはさまざまなアプリケーションサーバに対応していますが、今回のように4万人規模のシステムをJ2EE基盤上で安定稼働させるためには、何より高信頼・高性能が譲れない要件となっていました」と語るのは、日立システムソリューション部 技師である佐藤 圭氏。同じく日立システム交通第2システム部 技師である杉本 毅氏も「その点、Cosminexusはメインフレームで実績のある日立のミッションクリティカル技術をJ2EEベースに適用した製品ですし、運用後の問題解決を迅速化する障害解析機能も備えています。開発・運用時のサポート体制がしっかりしている点も魅力的でした」と振り返ります。

日立システムとCosminexusの開発元である日立のソフトウェア事業部との密接な連携によって、システム構築作業は一段と効率化。各部署への段階的なカットオーバーを経て、新社員システム「JINJRE」の勤務システムは、2008年4月より全社的な本格運用をスタートさせました。

作業負担の軽減と労働時間の適正な把握を実現

現在、JR東日本の約4万人に適用されている勤務システムは、鉄道乗務員を対象とした既存の勤務システムや、新構築の人事給与システムとシームレスに連携することにより、一連の業務にかかる作業工数の削減を実現しています。

「これまで、駅係員や車両・設備のメンテナンス業務従事者の勤務体系は複雑で、24時間の交代勤務や日勤後の夜勤など不規則な勤務が多く、紙と手作業による管理がほとんどでした。小さな駅では各駅ごとに入力・集計を行い、東京や新宿などの大きな駅では事務センターでまとめて入力・集計するなど、作業に長い時間を必要としていたのです。しかし今回のシステム化により、これらの集計作業や人事給与シス

テムへの入力といった一連の作業がWeb上から行えるようになり、担当者の負担を大幅に軽減することができました。以前は帳票が手元に届くまでわからなかった勤務実績も、リシテアの参照機能を使うことでリアルタイムに把握でき、労働時間の適正な把握が徹底できるようになりました」と語るのは、JR東日本 人事部 新社員システムプロジェクトの石川 司氏。

また、決してシステムダウンが許されない勤務システムの運用・保守を担うJEIS システム開発本部 生活サービスソリューション部 経費把握共通プロジェクト リーダー 伴 佳明氏も、「一般的にJavaのシステムは、負荷が高くなると安定性に欠けるのではというイメージがありました。しかし今回のシステム稼働後で、Cosminexusは一度もダウンしたことがありません」と、Cosminexusを基盤としたリシテアの安定稼働を高く評価します。

「当社のメイン事業である鉄道事業にとって、安全の確保は何より大事です。そのためにもシステムでは適時、社員の労働時間を適正に把握する必要があると考えています。また今後は、従来から行っている休暇の取得状況や長時間勤務のチェックなどに加え、社員がより働きやすい勤務制度の検討などにも、データの活用範囲が広がると期待しています」(JR東日本 石川氏)。

これからも日立は日立システムとともに、JR東日本の基幹業務を強力にサポートし続ける一方で、Cosminexusとリシテアによる大規模基幹システム構築で培ったノウハウを、幅広いお客さまに提供してまいります。

お問い合わせ先

(株)日立製作所 ソフトウェア事業部 販売推進部
TEL(03) 5471-2592

■ 情報提供サイト

<http://www.cosminexus.com/>